



Withコロナの  
社会へ向けた  
SDGsとビジネス

～広島における企業等のトランスフォーム～

# はじめに

誰一人取り残さない持続可能な未来を築くため、2015年、国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げられ、2030年の達成に向け、世界中で本格的に推進されています。SDGs達成のためには、先進国、途上国などの別なく、すべての国のすべての人がマルチステークホルダーパートナーシップによって取り組むことが求められており、それは広島でも同様に期待されているところです。

この事例集は、地元企業等の皆様がSDGs達成に向けた様々な取組を進めていることを紹介し、SDGsの認知度を高め、SDGsビジネスの推進・強化を目指すものです。

特別編として発行する今回は、コロナ禍にあっても、あるいはコロナ禍だからこそSDGsを積極的に推進している企業・団体について取り上げました。

この事例集をきっかけに、広島県内外の多くの方々にSDGsに興味・関心を持っていただければ幸いです。

# もくじ

はじめに

目次 ..... 1

県知事メッセージ ..... 2

SDGs概要 ..... 3

対談〈環境省×広島県×広島の大学生〉 ..... 4

## 企業・団体の取組事例

1. マナック 株式会社 ..... 6

2. 株式会社 西日本電工社  
    デイサービスセンターショートステイめぐみ園 広 ..... 8

3. 株式会社 御菓子所 高木 ..... 10

4. 株式会社 テレビ新広島 ..... 12

5. 問い立てラボ ..... 14

6. 株式会社 東広島タクシー ..... 16

7. 株式会社 重富酒店 ..... 18

8. 広島飲食店未来チケットグループ ..... 20

9. ためま 株式会社 ..... 22

10. 一般社団法人 世羅町観光協会（道の駅世羅） ..... 24

11. 株式会社 mint ..... 26

大学生アイデア意見交換会 ..... 28

参加企業・学生コメント ..... 30

編集者一覧 ..... 32

# 広島県知事メッセージ

MESSAGE FROM THE GOVERNOR OF HIROSHIMA PREFECTURE



広島県知事 湯崎英彦

人類最初の原子爆弾の投下により、多くの命が奪われ、一度は廃墟となった広島、そして多くの人々の力によって平和の街として復興を成し遂げた広島は、国際平和の構築のために貢献する使命があると考え、「国際平和拠点ひろしま構想」を策定しました。また、2018年には、「SDGs 未来都市」の一つに選定され、SDGsを通じた国際平和の実現に向け、様々な取組を進めているところです。

この取組の一環として、大学生のSDGsビジネスに対する理解を促進し、人材育成を図るとともに、県内のSDGsビジネスについてのノウハウや先行事例を蓄積し、国内外に

向けて発信するために、これまで2回にわたりこの事例集を制作して参りました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が多くの問題を顕在化させました。新型コロナウイルス感染症への対策については、SDGs達成に向けた取組と連携して進めることが効果的と提案されています。今回の事例集では、県内経済も大きな影響を受ける中でSDGsの視点から新型コロナウイルス感染症と闘う地元企業等の皆様の取組を御紹介しています。制作にあたっては、感染予防対策を講じたうえで、県内の大学生に御協力をいただきました。

今後も、こうした取組により、広島が有するシンボル性を活かしつつ、県内外、国内外の様々なステークホルダーの関心を高め、世界の経済の安定と発展に寄与し、SDGsの達成を図るとともに、広島県の更なる発展を実現して参りたいと考えております。

終わりに、御参加いただいた企業・団体及び学生の皆様、引き続き御尽力いただきました環境省中国環境パートナーシップオフィス・中国地方ESD活動支援センター様をはじめ、関係の皆様にご心から感謝を申し上げまして御挨拶といたします。

## SDGsってなに？

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、

「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を

目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられました。

2030 年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する



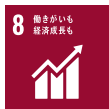
ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する



強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



各国内および各国間の不平等を是正する



包摂的で安全かつ強靱 (レジリエント) で持続可能な都市および人間居住を実現する



持続可能な生産消費形態を確保する



気候変動及びその影響を軽減するために緊急対策を講じる



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

# 私たちが向き合う SDGsとwithコロナ社会

取材を終えた大学生が、プロジェクトを通して得た学びや想いをふまえて、立場をこえて意見交換しました。私たちはどのようにSDGsに取り組んでいけるのか…？1時間半にわたる対談の一部をご紹介します！

## 中島 恵理さん

環境省地球環境局総務課脱炭素化  
イノベーション研究調査室/室長

環境省、長野県副知事など幅広い経験を経て、現在はカーボンニュートラルのイノベーション推進に関わっている。都会と田舎の2地域居住を実現中。



環境省

## プロジェクトからの学び、 withコロナ社会に向けたビジョン

**宮田** 世羅町の道の駅を運営する観光協会を取材しました。コロナ禍で、マイナスなことばかりだと思っていましたが、オンラインショップを始めたことがきっかけで、これからつながる来訪者の獲得など、マイナスからでもプラスのことをたくさんつくっていけると感じました。

**永田** 教育によって学びを伝える団体とテレビ局を取材しました。どちらも共通していたのが、コロナ禍だからこそ逆に外に広げていこうという活動でした。オンラインを活かし、コロナ禍だから学んでみようという場所や人を見て、SDGsがあるからこそ、

コロナ禍だからこそ、より広がったのだと思いました。

**沖本** 私が取材したのは、広島で100年続く和菓子店でした。和菓子店は伝統を守るお堅いイメージを持っていたのですが、新しいアイデアをどんどん取り入れて人を大切にしている企業で、伝統を守るだけでなく時代に合わせて変わるということに、持続可能なヒントがあると思いました。

**下崎** 広島こそSDGsをやるべきだと考え、どうやったら広がるのかと議論していく中で、今回のセレクトブック事業が生まれました。大学生に企業と話してもらうことやSDGsを勉強する学びを通じて人材育成する目的を持っていたので、熱心に取り組んでいただいたみなさんの話を聞いてうれしく感じ

ました。自ら学んで、自ら考えて、それを広く伝えることがみなさんの役割だと期待しています。

**中島** SDGsのポイントはつながりです。ヒアリングした企業同士を大学生の皆さんがつなげるなど、企業間連携や大学生とのつながりによって、広島でのSDGsが更に発展する可能性があると思います。若い大学生のみなさんが提案することによって社会が動く可能性は高いので、ぜひそのような活動に発展していくとすばらしいのではと思いました。

## 私が考えるSDGsのゴールと 達成するためのアクション

**下崎** “Goal1～15をパートナーシップ(Goal17)で実現し平和な社会(Goal16)をつくる”





### 下崎 正浩さん

広島県地域政策局総括官  
(国際・平和推進)

広島から発信する国際と平和推進を担当。生まれて半世紀以上、そのうちの半分を県庁で働いている。

広島県



広島の大學生

### 沖本 晴香 (中)

安田女子大学現代ビジネス学科3年

経営学や経済学、マネジメントを学んでおり、仕事を通して社会課題に貢献したい。

### 宮田 菜穂 (左)

安田女子大学生活デザイン学科3年

大学で建築や住宅について学ぶうちに、“まちづくり”に興味を持つように。

### 永田 みおり(右)

安田女子大学国際観光ビジネス学科4年

留学経験なども経て、今は卒業論文でサステナブルな観光について研究している。

SDGsの目標はすべからず広島県の事業に関わっています。その中で、我々の部署、平和部門が中心になってやっているのはなぜかと言うと、平和という視点でSDGsを見て目標を達成するという考え方でやっているからです。Goal16の視点で大事にしてSDGsに取り組み、平和な社会を実現したいと思います。

#### 沖本 “つながりから広める”

SDGsはゴールというよりも通過点だと思っていて、持続可能な社会が当たり前になっているのが、私がいメージする未来です。そうなるためには、まずは身近なところから発信をして、持続可能な生活様式が世界の人々に浸透していることが必要だと

思う。私は大学生の立場で、広めるということは今後やっていきたいと思っています。

永田 “ライフスタイル広める→Goal12,13,16”  
つながりがすごく大事だと思っています。広島で言えば平和を通して世界全体とつながること。Goal12, 13, 16に関するライフスタイルを広めることは個人レベルでできる。環境問題やSDGsは、興味がないものだと実行できないので、若い世代として楽しくSDGsを広められたらいいなと思っています。

宮田 “プラス思考でプラス行動を!!”  
SDGsを知らないこと自体が誰かを残しているのではないかと、そういう人たちがSDGsについて

考える輪の中に引き込みたい。そういう役割が自分にできたらいいなと思ったので、まずは自分の身近である家族や友達に発信して、一緒に考えていけたらいいかと、今日対談の中で強く思うことができました。

#### 中島 “人と自然も幸せに、できることから”

私たちが将来の子どもたちも、自然環境も、みんなが幸せになれるということだと思っています。私自身もそれを達成するために、10～20年かけて自分のライフスタイルでできることからやってきたことが、仕事でも活かされています。自分の小さなことからやっていくことが、大きく社会を変えらることにつながっていると思います。



対談の詳細はコチラ▶

EPOちゅうごくホームページ

<http://epo-cg.jp/activity/houkoku/sdgselectbook2020/>



リコー・ジャパン株式会社広島支社様へ会場・設備をご協力いただき感謝申し上げます。

# 化学の力で人々の健康を支える！ 社会の進化・発展への貢献と 持続可能性の追求

日々進化する臭素化・ヨウ素化技術をもとに、  
よりよい社会づくりを目指す「マナック株式会社」。  
コロナ禍の現状においても、  
社会発展と持続可能性の両立に挑み続ける！

<p><b>3</b> すべての人に 健康と福祉を</p> 	<p><b>8</b> 働きがいも 経済成長も</p> 	<p><b>9</b> 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> 
<p><b>11</b> 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p> 	

## COMPANY INFORMATION

### マナック株式会社

福山工場・研究所

📍 福山市箕沖町92番地

☎ 084-954-3767

🌐 www.manac-inc.co.jp

今回お話を伺った方



企画管理本部  
森岡 俊也さん



取材風景、専門的なお話も丁寧に説明いただきました

Etak® セーフティーコート®

## コロナ禍での変化に対応

**学生** 新型コロナによる会社の製造・事業の停止など、影響はありましたか。また、コロナ禍で始めた取り組みはありますか。

**森岡** 新型コロナによる海外取引への影響などはありましたが、総合的には業績などへのマイナスの影響はありませんでした。世の中で消毒液が不足する中、社会貢献として自社製品の抗菌剤「Etak® セーフティーコート®」を、地元福山市と広島県の医療現場、教育現場に寄贈いたしました。

私たちが  
取材しました！



栗原 麻里  
安田女子大学

化学の力で  
地域との絆深まる！



古本 はな  
安田女子大学

貴重な経験をさせて  
いただきました！



## SDGsの意識で生まれた変化

**学生** SDGsの17項目で、最も関連深いものが「3. すべての人に健康と福祉を」のようですが、具体的な取り組みを教えてくださいますか。また、SDGsを意識することで生まれた効果はありますか。

**森岡** 弊社の難燃剤や医薬関連の製品は、皆さんの生活と密接に関わっています。難燃剤を添加することでプラスチックなどを燃えにくくし、家電製品の劣化による発火を防いでいます。医薬関連の部分では、がん関連の医薬品原料や、婦人科領域の治験薬中間体などの製造に携わっています。このような形で健康と福祉に貢献しています。SDGsを意識する前と比べると、社員の意識の向上を感じます。SDGsに関する資料や新聞、他社の事例などに対し、敏感に反応するようになりました。

## withコロナでどう貢献していくか

**学生** コロナ禍にともない新しい生活様式が求められ、私たちの生活も大きく変化してきていますが、そのような状況の中、今後の展望としてどのようなことをお考えですか。

**森岡** withコロナ時代の中で、新しい働き方を模索しています。より柔軟な働き方や生産性向上を実現できるような新しい取り組みやアイデアを積極的に採用しています。また、コロナ禍で「Etak®」が注目を浴びたことを受けて、常に安定した製品供給ができるための環境整備や、より多くの人に使用していただくための拡販活動を実施しています。新しい生活様式の中で、製品を通じて社会に貢献していきたいと考えております。

左：実際に使用中の研究機材 右：こちらの工場で日々製造・研究されています




編集者  
からの  
コメント

消毒液不足の中、自社製品「Etak® セーフティーコート®」の寄贈という形で、地域とのつながりを大切にされている企業だと感じました。製品だけでなく、SDGsの達成目標として掲げている「すべての人に健康と福祉を」を心から願い、素早く行動する考え方にも感激しました。新型コロナウイルスにより、人々の健康や安全についての意識が高まった今、最大の強みである化学技術を活かした事業のさらなる発展が楽しみです。


# 高齢者が地元で暮らせる生きがいを！ “福祉×withコロナ”での介護のあり方とは…

呉市のデイサービス、ショートステイ介護施設、めぐみ園 広。感染予防だけでなく施設内の新しい取り組み、変わらない想いに迫る!!


**3** すべての人に健康と福祉を



**8** 働きがいも経済成長も



**11** 住み続けられるまちづくりを



COMPANY INFORMATION

## 株式会社 西日本電工社

デイサービスセンターショートステイめぐみ園 広

〒767-0240 呉市広大新開一丁目3番地 24号

☎ 0823-36-7652

🌐 www.megumien.net

今回お話を伺った方



施設長  
**筈屋 真二さん**

## 高齢者を守った“習慣”の大切さ

**学生** 介護施設はコロナ禍において大きな影響を受ける中、どのような対応をされましたか。

**筈屋** 利用者さんは当初、新型コロナのことを「虫？」と言うほど理解が及んでない方もおり、職員だけがピリピリしていました。そんな状況と新型コロナの情報が少ない中、対策をしていかなければならないのがとても大変でした。新型コロナの前後で、変わらず利用者さんに快適に過ごしてもらえるよう、まずは飛沫防止ボードの作成、独自の感染予防リストである「COVID-19」の作成、換気と消毒、利用者さんに感染防止のため声掛けを徹底しました。日々の積み重ねで、認知症



左：めぐみ園内のイベント風景 行事は感染予防しながら職員が盛り上げます  
右：独自に作成した感染予防フリップを発見！



私たちが取材しました！

福祉の重要性を再認識しました！

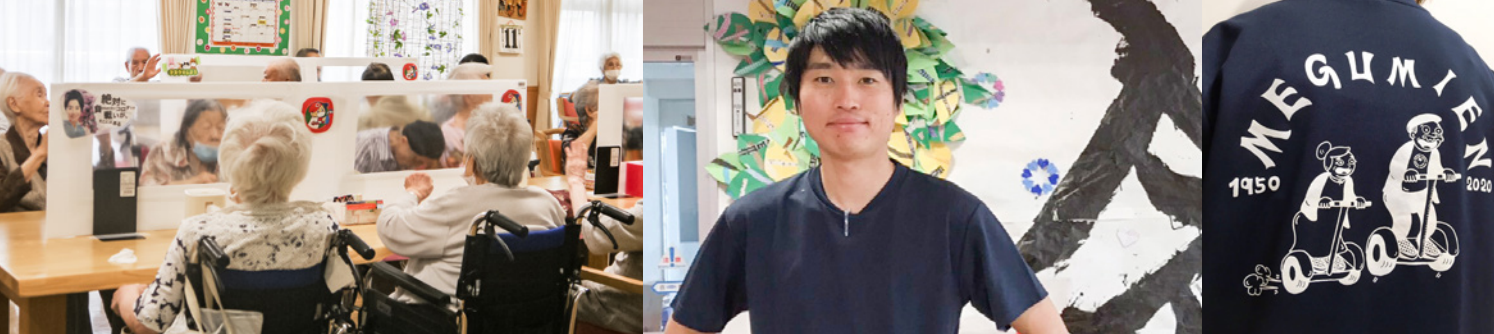
**宮田 菜穂**  
安田女子大学

最先端を取り入れる介護施設！

**前久保可南子**  
広島女学院大学

アットホームを感じる施設でした！

**石津 小雪**  
安田女子大学



左：表情が見える手づくりの飛沫防止パネル 中：今年、着任された理学療法士の釜屋施設長 右：新しいことに挑戦！の意味を込めためぐみ園Tシャツ

の方も“30秒手洗い”ができるようになったことには、私たちも驚きでした。

## 介護業務にも新しい“風”を

**学生** コロナ禍において、働く面で変化させたことはありますか。  
**釜屋** はい。我々も新しいことにチャレンジする必要があると感じました。例えば、体操や脳トレ、指トレを皆さんにも自宅などでしてもらえよう、動画共有サイトで配信を行いました。施設内で動画を流すと利用者さんには好評で、業務の簡素化にもつながりました。また、地元企業を応援しようと、地元ホテルのお弁当やお菓子屋さんから商品を購入しました。介護業務には新しい技術を導入し、リモート会議の開催、非接触検温器、自動施錠システム、利用者情報のタブレット管理など、新型コロナ対策をし

ながら効率化もできました。新しい技術を活用し、介護の魅力を若い世代にも伝えていきたいです。

## 楽しみを覚える施設を目指して…

**学生** どのような想いで利用者さんと向き合っているのでしょうか。  
**釜屋** 「ここに来てよかった」と思ってもらえることを一番に考えています。我々としては、地域の高齢者に生きがいをもって生活してもらい、毎日元気に過ごそう！と、その人らしく長生きをしてほしいのです。病院などでリハビリを経てご自宅へ戻られた高齢者に対しても、「めぐみ園で楽しもう！健康でいよう！」と、日々の楽しみとしていただける、そんな生きがいになるような場所づくりを目指しています。

編集者  
からの  
コメント

感染予防リスト、飛沫防止パネルを独自で作成することは、利用者や職員、すべての人が健康に過ごすことにつながっていました。介護予防を今まで以上に積極的に取り組まれていることは、質の高い福祉が実現されてSDGsの目標3に貢献できていると感じました。また、高齢者が地元で末永く暮らすため、利用者の個性を尊重するめぐみ園のような施設の存在は、安心をもたらし、住み続けられるまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

# 愛され続ける 和菓子店であるために、 100年前から変わらない想い

広島の地で100年続く老舗和菓子店。  
戦争や恐慌など、数々の困難を広島の街とともに乗り越えてきた。コロナ禍においても、日本の美しい文化であるお菓子を通して人々を楽しませ続ける。



COMPANY INFORMATION

株式会社 御菓子所 高木

〒広島市西区商工センター七丁目1番地10号

☎082-277-8011

🌐www.okashidokoro-takaki.com

今回お話を伺った方



取締役社長  
加藤 博基さん

## ご自宅でも四季の美しさを

**学生** 自宅で和菓子作りができる体験キット「おてづくり生菓子-桜-」。こちらはコロナ禍の3月に販売されたそうですが、こういった背景があったのですか。

**加藤** 「おてづくり生菓子」を販売したきっかけは、新型コロナウイルス感染拡大により外出を自粛せざるを得ない春に、家族で桜の生菓子を作ることができれば、美しい桜と美味しいお菓子を同時に楽しめていただけると考えたことです。こんな時だからこそ「日本の美しい四季」を楽しみ、安らいでもらい、和菓子に興味を持っていただきたかったからです。作り方はSNS上で動画配信しました。ご家族で作ることで、お子様にもこの魅力を感じてもらえたら嬉しいです。

左4枚：歳時記を彩る美しい上生菓子「着綿」「木陰の水」「木枯」「松の雪」 右2枚：「おてづくり生菓子-桜-」のキット



私たちが  
取材しました!



素敵なお人柄の  
社長さんでした!

沖本 晴香  
安田女子大学



100年前から  
SDGs!

景山 夏帆  
安田女子大学



伝統を  
守り抜く信念

永田 みのり  
安田女子大学



伝統を発展させる  
素敵なお企業でした!

丸茂 真奈美  
安田女子大学



# 鶴

おかげさまで百周年

## 御菓子所高木

いつも、いつまでも、いいものを

左: 熱い想いを語られる加藤社長  
右: 人びとにお慶びを。愛され続ける  
御菓子所高木のシンボル「鶴亀マーク」

## コロナ禍でも日本の文化を忘れずに

**学生** 5月6日までの休業要請中、節句前日の4日から営業再開されたとのことですが、それはなぜですか。

**加藤** 私の孫も初節句で、同じような方がいらっしやると思い、今こそ和菓子とともに皆で祝ってほしいという想いで決めました。社内で反対の声がある中、楽しみにしてくださっている方が一人でもいらっしやるなら、お店の扉をこちらから閉ざしてはいけないと、各店の従業員に手紙で伝えました。おかげで当日はたくさんの方にご来店いただき、和菓子屋として、日本の文化を伝える役割を少しだけ担えたことを嬉しく思います。

## コロナ禍だからこそ、地域の支えに

**学生** 地域のためにされた取り組みと、その根底にある想いをうかがいたいです。

**加藤** 広島県菓子工業組合主催の「お菓子味来チケツ事業」に参加し、弊社のチケットの売上から、弊社のお菓子を子ども食堂に寄付しました。お客様のお気持ちが子ども達の笑顔になる素晴らしい事業です。また、チケットをご購入いただいたお客様には、感謝の想いを込めてお手紙をお送りしました。弊社が広島にとって「なくてもいいもの」ではなく、「なくてはならないもの」でありたい。広島の人たちに育てていただいた和菓子店として、皆さんのお役に立てるお店にならねばと思っています。



会社の想いを知る、とても濃い時間でした

編集者  
からの  
コメント

加藤社長は意識されていなかったそうですが、ここで取り組まれてきたことはSDGsにつながる想いに溢れていました。100年前から変わることなく守り続けてきた、人を想う企業文化があったからこそ、コロナ禍の今でも必要とされる和菓子店であり続けているのではないのでしょうか。若い層にも和菓子を通して日本の文化を伝えていくため、この揺るがない企業文化を基盤とし、これからも変わらない幸せを届けていただきたいと思います。

# 信頼される確かな情報で 広島の人々とともに未来をつくる

1975年に広島県で開局し、番組制作を通じて希望と平和を育む社会づくりに取り組んでいるテレビ新広島。人々の求める正確な情報を届け、地域の信頼を大事にするテレビ局。

4 質の高い教育を  
みんなに



16 平和と公正を  
すべての人に



## COMPANY INFORMATION

### 株式会社 テレビ新広島

📍 広島市南区出汐二丁目3番地19号

☎ 082-255-1111

🌐 [www.tss-tv.co.jp/summary](http://www.tss-tv.co.jp/summary)

今回お話を伺った方



経営推進局経営企画部長  
横川 慶治さん



## コロナ禍で地域に果たすべき使命

**学生** 新型コロナによって取材の仕方や放送内容に影響が出たかと思えます。どのような想いで取材、放送されていますか。

**横川** 情報番組では感染者を出さない努力に共感し応援したいという気持ちで、行政が示す新型コロナ対策に取り組まれているお店を取材・放送させていただいています。感染拡大当初は飲食店などの紹介は控えていましたが、消費活動低迷により経済的に苦しむ人が増えないよう、現在では感染予防を徹底しながら、楽しくポジティブな内容もお届けしています。局として感染予防のためにできることを第一に、ニュース番組では自社ホームページも含め、最新の感染情報とともに、取材に基づいた正しい予防策などを詳しく伝えています。

私たちが  
取材しました！



信頼される  
ための努力！

永田みのり  
安田女子大学



信頼を大切に  
する企業でした

丸茂真奈美  
安田女子大学

## テレビ局だからこそできること

**学生** テレビ新広島が果たす SDGsの役割を教えてくださいませんか。

**横川** 近年の豪雨災害や新型コロナの流行で、気候変動の影響に危機感を覚えました。これらの問題に取り組む SDGsを広め、災害情報や感染情報など、視聴者が求める情報を正確に発信していくことがテレビ局としての役割だと考えます。また、未来を担う子どもたちに豊かな教育を届けるために「わんぱく大作戦」などのフィールドワークを通じた学びの提供、応募のあった県内すべての新生児に子育てグッズが入った箱を届ける活動「サンキューフォーゼロ」を行っています。



取材に応じていただきありがとうございました



左：わんぱく大作戦の「農業体験」

右：2年前から配信開始の「原爆特番アーカイブ」

## オンラインで8月6日を世界中に

**学生** SDGsの「16. すべての人に平和と公正を」にも注力されていますが、世界へ届けるその取り組みを教えてくださいませんか。

**横川** 毎年8月6日に放送している原爆特番の英訳版アーカイブや平和記念式典の生配信を、今年は式典に参加できなかった方々や世界中の人々に見ていただけたのではと思っています。被爆者の高齢化が進む中、平和の実現のためには戦争を経験した人々の声を「残す使命」があります。地元のテレビ局だからこそ発信できる信頼のおける情報を、多くの人に届けるためのメディア戦略を取り入れています。

編集者  
からの  
コメント

取材前は、インターネットの普及によるテレビ離れが気がかりでした。インターネットでは利用者が能動的に情報を探し、取捨選択をする一方、テレビからの情報は受動的に受け入れられていることに気がきました。受け身の情報だからこそ常に正確に届けなければならないという、視聴者との信頼の上に成り立つテレビ局だからこそそのポリシーがありました。番組に関わる多くの社員の努力と、一人でも多くの視聴者に見てもらおうための戦略に、心を動かされた取材でした。

# 教育にかかわるすべての方に、 ワクワクする学びの 1ページをお届けします

中国の学校で勤務される山崎先生により運営され、異なるバックグラウンドを持つ仲間と、多角的に教育について議論し合う学びの場です。学校教育の可能性を広げる、その想いとは？



山崎先生の白熱した授業

4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナシップで  
目標を達成しよう



COMPANY INFORMATION

## 問い立てラボ

✉ toitatelabo@gmail.com

🖥 www.toitatelabo.jp

今回お話を伺った方



代表

山崎 友亮さん

## 点と点がつながり、学びが広がる

**学生** 問い立てラボを始めたきっかけを教えてください。

**山崎** 私は、学校の教師をしていてコンプレックスがあります。それは「教師という仕事しか知らない」ことです。「あ〜、こんなことも知らずに教師をしたのかあ」と思うことが、毎年多々あります。今は親にもなり、教員経験も増えてはきたけど、それでも高校生の親ではないし、教員という仕事しかしないコンプレックスは消えませんが、一方で、世の中のすべての職業を経験できるわけではないのはわかっています。そんな中、多様なメンバーと「教育」について学び、つながり、広がる場が必要だと思いました。学校や先生が社会とつながる場でもあります。

私たちが  
取材しました!



教育と未来への  
情熱に感動!

永田みのり  
安田女子大学



教育に少し  
興味ができました!

中川理香  
安田女子大学



参加者の年齢の  
幅に驚きました

吉貫沙希  
安田女子大学



## オンライン授業から広がる対面授業の未来

**学生** 問い立てラボにも新型コロナの影響が大きかったのではないのでしょうか。

**山崎** イベント参加者の皆さんと、直接、白熱した議論をしたかった気持ちもありましたが、オンラインを活用することで世界中の人とつながることが可能になりました。また、広島市内の人は直接集い、その他の地域の方はオンラインでする併用型のイベントも実施したことで、新たな学びの形を模索することができました。また、この対面とオンラインの併用型は、学校の教育現場でも十分活かせると確信しました。

左：積極的に意見をかわし、問いを立てる様子 右上：教育に化学変化が起こるロゴマーク  
右下：被爆者と被爆伝承者によるオンライン平和学習



山崎先生の情熱に引き込まれた取材

## 創ることを通して学校での学びをデザインする

**学生** 山崎先生がこれから取り組みたいことはありますか。

**山崎** ここ数年、共感しているのが、経済産業省の「未来の教室」が唱えている、“創る、知るの学び”です。何かを創ろう (Creative) とすると、そのための知識が必要となり、自然と学ぶことができます。問い立てラボでは、「短歌を詠もう」や「作曲をしよう」というオンライン授業を行いました。「短歌」を国語、理科、数学の教科から学び、短歌をつくり、「作曲」では、数学と音楽の教科から曲をつくりました。つくる過程で様々な教科を横断し、楽しみながら学ぶことが実際にできました。問い立てラボを通して、このような学びができることを広めていきたいです。また、新たな授業の実践に向けて先生が挑戦する場でありたいです。


編集者  
からの  
コメント

とても明るく情熱的な山崎先生。私たちも、話に引き込まれていくように聞かせていただきました。問い立てラボでは、参加者や主催者側に回っている学生たちが皆、主体的に学んでいる姿を拝見し、参加者が「好き」を基に楽しく取り組んでいることが感じ取れました。教育現場も大きく変革していく中で、問い立てラボのように、先生から生徒、そして親までが一つの場で学び合うことの有用性を実感しました。

# 地域を支える！ 地元の暮らしに寄り添う タクシー会社

子どもから大人まで住みよいまちづくりを目指す「eサボタク」という独自のサポートを行っている中で、新型コロナの影響で始めた新しいサポートについてお話をうかがいました。

**8** 働きがいも  
経済成長も



**10** 人や国の不平等  
をなくそう



**16** 平和と公正を  
すべての人に



**7** エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## COMPANY INFORMATION

### 株式会社 東広島タクシー

〒740-0292 東広島市西条町御園宇3387番地

☎082-423-2631

🌐www.e-taxi.co.jp

今回お話を伺った方



取締役  
山田 章夫さん

## 職員の「想い」を形に

**学生**「お買い物代行サービス」を始めたとうかがいましたが、きっかけは何ですか。

**山田** コロナ禍の中で旅客運送事業者ができることを考えました。今の社会、ユーザーから何が求められているのか。東広島タクシーの長所と社会課題の交わったものの一つに「お買物代行サービス」がありました。人の移動は自粛する必要がありますが、モノは必要です。ケガや病気、緊急時に必要になるものもあるかもしれない、ということで始めました。また、コロナ禍をきっかけに、市内の飲食店が連携し

山田取締役との質疑応答の様子



私たちが  
取材しました！



ご協力ありがとうございました！

佐山 莉子  
安田女子大学



地域とのつながりを感じました！

沖野 加奈  
安田女子大学



とても楽しかったです！

村重 遥佳  
安田女子大学

## 東広島市の街のこれから

**学生** これまでのお話を聞いて、とても地域に密着した会社であるということがわかりました。そんな東広島タクシーだからこそ目指している理想の地域というものはありますか。

**山田** 弊社も東広島市で創業して70周年を迎えました。東広島市はめまぐるしい発展を遂げ、人口も増加している珍しい都市です。未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市としてまちづくりを進めています。SDGs 未来都市にも選定された街です。私たちは人の移動をお手伝いする、人との触れ合いが切り離せない事業者です。人と人、人と街をつなぎながら未来を描き、高齢者、小さな子ども、子育て世代など、誰も取り残さない街にしていきたいです。



東広島タクシーの受付にて、山田取締役

デリバリーのプラットフォームを作られました。その配送のお手伝いを、貨物運送事業の許可を取り運行しています。

## 地域の方々の想いに応える

**学生** どのような方が「お買い物代行サービス」を利用されていますか。

**山田** ウイルス感染によるリスクの高い方から多くご利用いただきました。高齢を理由に外出自粛をされている60代の方々、日常のお買物が必要な40代後半の方々です。いずれも外出が困難な方が多く、中には新生児がいらっしゃる20代の若い女性からのご依頼もございました。



左：東広島市観光特命大使のん太をラッピングしたタクシー！ 右：「eサボタク」のサービス内容 地域のお困りごとを様々なサービスでサポート！



編集者  
からの  
コメント

本当に困った人が身近にいるのならその人の助けとなり、東広島市という街を守っていきたいという想いから、「お買物代行サービス」や「お弁当配送サービス」などを行っていることがわかりました。新型コロナをきっかけに始めたサービスですが、年齢や性別などを問わず利用しやすいメニューが用意されていて、平常時でも地域の方々の生活の支えになるものと感じました。また、そのことがSDGsの目標8、職員の働きがいにもつながっているのではないかと思います。

# 「生ビール」と「広島」への熱い想い

広島で代々美味しい生ビールを提供してきた歴史ある酒店。“生ビールで広島を元気にしたい”そんな想いで今日もサーバーを握る重富酒店の重富代表に、お話を聞いてきました！

8 働きがいも  
経済成長も



16 平和と公正を  
すべての人に



## COMPANY INFORMATION

### 株式会社 重富酒店

📍 広島市中区銀山町10番地12号

☎ 082-244-4147

🌐 www.sake.co.jp

今回お話を伺った方



代表取締役  
重富 寛さん



生ビールの説明をしてくれる重富代表取締役

## ゴールであり、過程。

**学生** まず重富代表が取り組んでいらっしゃる「ひろしま元気プロジェクト」について教えていただけますか。

**重富** 僕が小学校のPTA会長だった時、行事で紙飛行機大会を実施したんです。その時、はしゃいでいる親の姿を見て、子どもたちがとても楽しそうにしている。そこで“親の笑顔こそが子どもを本当の笑顔にする”と気付いたんです。しかし、仕事の事情などで笑顔になれない親がいます。でも、美味しい食事や、美味しい生ビールを飲んでも

私たちが  
取材しました！



ビールおいしかったです！

檜垣ひなた  
安田女子大学



勉強になりました！

木村萌衣  
福山大学



ビールへの情熱を感じました！

松山果帆  
安田女子大学

らえれば、ちょっと笑顔になれるんです。そんな親の笑顔を見て、子どもたちも笑顔になるのでは…。なので僕は、広島中の生ビールのクオリティを上げるためにこのプロジェクトを立ち上げ、飲食店へのセミナーやアドバイスを行う「生ビール大学」を開校したり、SNSでビールについて発信したりしてきました。

## ビールを注げない時間を伝える時間に変える

**学生** 今のコロナ禍の状況をどのように考えていますか。

**重富** 僕は、ビールを注ぐ時間が、ビールを伝える時間変わったのだと考えています。この状況だから、生ビールの美味しい注ぎ方などを伝えるビールチャンネルを開設しました。オンラインなら、外出が難しい人や、人混みを気にしてお店の生ビールが飲めない人たちにも伝えることができます。「休業中こそ！勉強す

るなら今のうち!」と、実は生ビール大学を受講したいという飲食店さんが、新型コロナの影響でむしろ増えたんです。

## 当たり前乾杯できる日常を目指して…

**学生** 最後に、重富代表の今後の目標について教えてください。

**重富** 目標は、広島中の生ビールのクオリティを上げ、さらに全国の生ビールのクオリティを上げることです。新型コロナ収束後、皆で美味しい生ビールを飲んで「お疲れ様」って言いたいです。また、美味しい生ビールを広めることで、多くの人に僕という人を知ってもらい、それを通して広島を知ってもらえるかと思って。被爆地として広島は、誰かと誰かが一緒に仲良く生ビールを飲める日常がどれだけ大事か、平和ということがどれほど幸せか、多くの人に伝えていかないといけないんです。



左:美味しい生ビールをゴクッと! 左中:飲み比べをさせていただきました 右中:注ぎ方一つで変化する生ビール 右:色々なお話を聞かせていただきありがとうございました!

編集者  
からの  
コメント

コロナ禍をマイナスに捉えずに、この状況だからこそ自分にできることに向き合っている姿に感銘を受けました。また取材を通して、重富代表が美味しい生ビールを広めることは、“当たり前の日常が幸せだ”と人々に伝えているのだと感じました。重富酒店は、平和について考えるきっかけの場所となるのではないのでしょうか。

# またあのお店でみんなと 楽しく食事をしたい！ 少しでも力になりたい！ という想いを形に

新型コロナの影響で苦境に陥っている広島  
の飲食店を、前払い制のチケットで応援し、  
街の活気を取り戻そうと、広島市に在住する  
有志約10名が中心となってはじまった取り組み。

8 働きがいも  
経済成長も



17 パートナースHIPで  
目標を達成しよう



COMPANY INFORMATION

広島飲食店  
未来チケットグループ

www.facebook.com/hiroshimarft

今回お話を伺った方



北村 浩司さん

またあのお店で楽しみたい、応援したい、そんな想いから

**学生** チケットを作ろうと思ったきっかけを教えてください。

**北村** 新型コロナの影響を飲食店が多く受けている中、街の活気を取り戻したい、あの大好きな店で楽しみたいという思いからチケットを作りました。また、この状況の中、何もできない私自身のもどかしさから、何か始めたいと思いました。一緒に活動しているのは、業種や仕事に関係なく、一緒に食べたり、飲んだり、楽しむ仲間たちです。以前、広島市で土砂災害が起こった際にも一緒にボランティアを行いました。災害等で傷ついている被災者の力になりたい、その時も私自身の魂の救済のためでした。

インタビューの様子 私たちの質問に丁寧に答えていただきました



私たちが  
取材しました！



中川 理香  
安田女子大学

人のつながりを  
大切にしたいです！



吉實 沙希  
安田女子大学

想いをたくさん知る  
ことができました



チケットを利用しているお好み焼き屋「じゅにあ」。

## チケットが精神的支えに

**学生** 実際にチケットは飲食店へどのような影響を与えたのでしょうか。また、私たちが取材したお好み焼き屋では、購入したチケットを持っている方でも現金で支払う方がいると聞きました。

**北村** このチケットは、飲食店の方の精神的支えになりました。新型コロナによって、外食する人が減りました。中には、自分たちは必要されていないと感じ、お店を閉めることを考えた店主もいました。けれど、このチケットを購入するお客様の存在が、心の支えになったようです。このチケットは、店がある限りずっと利用することができます。そのため、ずっと使わず持つておくという利用方法もあります。「そんなチケットあったかな」と忘れられるくらいがいいと思います。

## 想いをチケットとして形に

**学生** ボランティアだからこそ、できたことはありますか。また、チケット制作や配布で大変だったことは何でしょうか。

**北村** ボランティアの利点であるフットワークが軽い、ということで早く支援ができました。3月の下旬に案ができ、2~3日後には実現へと動き始めました。行政の支援や他の支援の火付け役になったと思います。また、チケットは金券と同じ物で、財務局に行き、法律について相談しました。お金が関わることなので大変でした。チケットのデザインは仲間が行い、配布は仲間や知り合いの方と一緒に行いました。仲間がいてこそできたと思います。



右:笑顔で気さくな北村さん  
左:たくさんの方の想いがこもったチケット



編集者  
からの  
コメント



取材を通して、チケットに託した広島飲食店未来チケットグループメンバーの想いが強く感じられました。また、チケットを利用しているお店の取材では、実情だけでなく、私たちが想像していなかったお客様のあたたかい応援を知ることができました。新型コロナ状況下で、多くの方の協力のもと、チケットを通してSDGsの「8.働きがいも経済成長も」という目標達成されており、身近な問題の解決はSDGsにもつながっていることを学びました。

# ゆるく。あたたかく。 住民主体のまちづくりを webアプリでサポート。

新型コロナで活動範囲が制限される中、どこでも見られる媒体として必要な地域情報を届けている「ためまっぷ」。情報の格差を減らし、地域を知りたい人、知らせたい人をつなげる。


**11** 住み続けられるまちづくりを



**3** すべての人に健康と福祉を



**8** 働きがいも経済成長も



**17** パートナリシップで目標を達成しよう



## COMPANY INFORMATION

### ためま株式会社

〒広島市中区本川町三丁目1番地5号  
シーアイマンション2階 Port.Inc 内

☎ 080-7019-9688 (清水代表)

🌐 www.tamemap.net

今回お話を伺った方



中四国運営サポート  
横山 ゆかりさん



「ためまっぷ」の魅力語る横山さんと取材する学生たち

## 地域のこともっと身近に

学生「ためまっぷ」のシステムについて教えてください。

横山 「ためまっぷ」とは、私たちためま株式会社が特許を取得した地域イベント情報共有サービスです。地域の情報源である掲示板やチラシは、日常の景色と化しています。それらの必要な情報をデジタル化することで、情報の格差を減らし、知りたい人、知らせたい人の当事者同士を簡単につなげることができると考えています。また、最近はチャットツールなどで送られてくるたくさんの情報がありますが、こ

私たちが  
取材しました!



佐山 莉子  
安田女子大学

貴重な経験と  
なりました!



沖野 加奈  
安田女子大学

ためまっぷの  
ファンになりました!



村重 遥佳  
安田女子大学

広島のことを  
再認識できました!



れらは知り合い同士のやり取りであるために、情報伝達に強制力が生まれてしまいます。そのことで、時に苦しさを覚えてしまうという声もいただいていたので、もっと地域のことを“ゆるく”気軽に届けられないかという思いもあります。

## 「ひとりじゃない」励ましあったコロナ禍

**学生** 新型コロナにより各地のイベントが激減したとうかがいました。サービスに変化はありましたか。

**横山** イベントが開催できず、情報をほとんど載せられない時期が続きました。そんな中、子育て支援イベントの主催者の方々が若いお母さんたちに向けて、「ひとりじゃないよ」というメッセージや簡単なレシピを「ためまっぷ」に投稿されていたんです。慣れない子育てをがんばる励みになったと思います。農家や飲食店を、



社内での話し合いの様子

地域に必要な拠点として紹介する自治体もありました。「梅ジュースを作って待っていますね」って。すごくあたたかい空間ですよ。

## 魅力はカスタマイズ。安心・安全な町へ。

**学生** 「ためまっぷ」の特徴的な使われ方の例は他にもありますか。目指したい未来の社会についても教えてください。

**横山** 地域ごとにカスタマイズして使っていただける点は「ためまっぷ」の魅力のひとつです。例えば、防災マップとして使われている地域もあり、散歩や買い物途中に潜むリアルな“危険”が掲載されています。(ためまっぷ横川モデル) 必要としている人がもっと簡単に情報を得られる、安心・安全であたたかいまちづくりのお手伝いができたらと思っています。



左：広島県府中町の地域資源マップ  
右：地域住民による町の注意喚起

編集者  
からの  
コメント

最新の技術を使ったサービスでありながら、手書きのチラシや自然体の活動風景の写真が行き交う「ためまっぷ」には、どこか懐かしさや安心感を覚えます。「すべての人に地域情報を」と使いやすさにこだわり、年齢による情報格差を軽減。外出が制限されたコロナ禍では、地域との関わりを感じられる交流の場となりました。世界とつながるSNSも良いけれど、身近な出会いを大切にすることが、本来の豊かさなのかもしれません。

# 全国、全世界へ「世羅」の魅力を発信！道の駅から、セラナンデス！なまちづくりを

新型コロナによる観光客の減少。行き場のなくなった特産物を救うのは一。全国道の駅満足度ランキングトップクラス「道の駅世羅」を運営する世羅町観光協会の打開策に迫る！

11 住み続けられるまちづくりを



8 働きがいも経済成長も



12 つくる責任つかう責任



## COMPANY INFORMATION

一般社団法人 **世羅町観光協会**

📍 世羅郡世羅町川尻 2402 番地 1 号

☎ 0847-22-4400

🌐 [www.seranan.jp](http://www.seranan.jp)

今回お話を伺った方



事業部長  
**西原 淳さん**

## 道の駅が生み出した新たな戦略

**学生** 新型コロナの影響で観光客が減少し、世羅町も大きな影響を受けたと思います。世羅観光の拠点である「道の駅世羅」では、どのような対応をされましたか。

**西原** 外出自粛ムードが強まり、道の駅の客数も減少しはじめ、普段ならば道の駅で販売されるはずの生産物が行き場をなくしていたんです。なんとかしたい思いで、会員の協力を得て、早い段階でオンラインショップの運営を本格化させました。また、例年は観光客向けにPRしているプレミアムチケットを、今年は町民にも利用してもらえよう呼び掛けました。



道の駅世羅外観。広島バスセンターから「ピースライナー」で約90分！

私たちが取材しました！



生産者さんともつながりました！  
**宮田 菜穂**  
安田女子大学



ぜひご自宅で世羅の魅力を！  
**前久保可南子**  
広島学院大学



コロナ×観光のあり方を学べた！  
**石津 小雪**  
安田女子大学



道の駅世羅とお客様 にごわう道の駅 今年8月売上過去No.1!

## withコロナでさらに深まる地元愛

**学生** 「道の駅世羅」が大切にしていること、また with コロナの社会における道の駅の役割を教えてください。

**西原** 地域の方と作り上げてきた5年間、多くの人の支援があり、客数や売上は右肩上がりできています。これまでも、これからも、世羅に関わるすべての人に感謝の思いを持つことが大切です。道の駅は、地元の方との協働でなければ成り立ちませんから。今後も地元の方と協力しながら、オンラインショップも続け、地元の食材を生かしたコーナーや産直市を充実させるなどの工夫をしながら、観光客と地元の人をつなぐ場として地域に貢献していくことが、道の駅の役割です。

上: 道の駅世羅のロゴ 世羅の自然の豊かさを感じます! 下左: 「世羅へ足を運んでください」と西原事業部長 下右: 特産品とプレミアムチケット チケットでお得に、おいしい特産品を買ってみました!

## 物販だけで終わらせない「つながり」

**学生** それらの取り組みをすす中で、新たに得られたものはありますか。

**西原** オンラインショップを情報発信の手段として使用することで、世羅の魅力を広く周知することができました。これまでは、世羅に来た方を対象に商品を提供していましたが、ネットを使えばお客様を待つだけでなく、自分たちから発信できるので、商品を全国、全世界に届けることができています。生産物を世羅に留めるのではなく、広く流通させることで、食品ロスの発生を抑制することもできました。広範囲にわたって新たなつながりができたことで、今後、直接世羅を訪れ、世羅の良さを知ってもらえる可能性を広げることができました。新型コロナ後には、ぜひ世羅町に足を運んでいただきたいです。



編集者  
からの  
コメント

「道の駅世羅」は、従来のあり方にとらわれない“新たな道の駅の役割”を生み出し、さらにそれが、本来の役割である地域振興にもしっかりつながっていることに感銘を受けました。SDGsの視点からも観光協会と生産者の協働が、地域経済の維持や、世羅の魅力に惹かれたリピーターの増加など地域全体の活性へとつながり、訪れたい町、さらには住みたい町になっていくのではないのでしょうか。これからの世羅町がとても楽しみです。

## “ストーリー仕掛け”の ツアーで地域と世界をつなぐ

広島市内を中心に、その地ならではの物語を伝える株式会社 mintのメイン事業「sokoiko!」のサイクリングツアー。石飛代表がこの事業に込める想いとは一体？

16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナシップで  
目標を達成しよう



COMPANY INFORMATION

株式会社 mint

☎ 090-4804-7477

✉ sokoiko@mintinc.co.jp

🌐 www.sokoiko-mint.com

今回お話を伺った方



代表取締役  
石飛 聡司さん



被爆樹木の下で、広島の未来について考えます

### “ガイドブックに載っていない旅”で地域発信

**学生** 早速ですが、「sokoiko!」の事業を始めたきっかけは何でしたか。  
**石飛** 7年ほど前に、友達と「何かやろう!」と、まず会社を作ったんです。せっかくだから、地元である広島に貢献できることをしたいと思って、いたところ、日本でインバウンド観光客が増えていることを知って、観光に焦点を当てました。その時、「広島って、平和公園や宮島には人が多いけど、地方にはいないよね」ってことに気づいて。そして、その理由って、他の場所を知らないからなんじゃないかって。そこで、「地元の人だから知っているような、“ガイドブックに載っていない旅”」を提供していこうと思いました。

私たちが  
取材しました!



業界を知れる  
いい機会でした!

榎垣ひなた  
安田女子大学



楽しかったです!

木村萌衣  
福山大学



とても勉強になりました!

松山果帆  
安田女子大学

## コロナ禍でもオンラインで! ~体験の"Take out"~

**学生** 新型コロナの影響で、観光業はかなりのダメージを受けていると思うのですが、石飛代表にとってズバリ、今のコロナ禍という状況はプラスですか。マイナスですか。

**石飛** ズバリ、プラス!…にしている、という感じです。実際は、今年の4月以降の予約がすべてキャンセルになるなど、大打撃を受けました。ですが、この状況でできた時間で新しいことにも手を伸ばすことができます。日本人向けのツアーを見直したり、市場拡大のための準備をしたり…。日本人・外国人の双方に向けた「オンラインサイクリングツアー」も、そのうちの一つです。after コロナにおいて、オンラインツアーをきっかけに「ここに実際にきた



スポットごとに自転車を止めて説明をしてくださるので、よりリアルな広島が学べます

左: 熱く事業への想いを語ってくれた石飛代表 右上: 私たちも実際にツアーに参加してみました!  
右下: サイクリングツアーで使用するのは「びーすくる」 広島を並んで駆け抜けます!



編集者  
からの  
コメント

実際にツアーに参加した際に、今までの平和学習では触れることのできない「戦前から現在までの日常」に寄り添うことができました。サイクリングで実際の地に赴き、自分たちの生きる今と歴史を比べる経験がとてリアルで、今、世界で求められる平和構築の方法だと感じます。悲惨さ以外の感情にも重点を置いた歴史を学ぶ機会が、世界中における互いの理解、そして平和につながっていくのだと感じました。

い」としてもらうために始めました。喋るパンフレットみたいな(笑) 今後も、オンライン事業は続けていくつもりです。

## 全国にストーリーを作る~コロナ禍を機に広がる市場~

**学生** 今後は、どういうことに挑戦していきたいですか。

**石飛** これもコロナ禍をきっかけに踏み出したことなのですが、今現在、大きな夢としてフランチャイズ化を掲げています。これからも、「その地ならではのストーリー」が発信できる場所へ、拠点を広げていきたいと考えています。ピースツアーにおいて、広島を過去と現在の暮らしに焦点を当てて「平和」を伝えているように、全国、そして全世界にストーリーを作り、ツアーを目的地とすることが目標です。

with コロナの社会

# 広島を未来を考える

広島で活躍する企業・団体への取材を終え、掲載原稿の作成に励んできた参加学生。取材で得た学びを振り返り、今年度のコンセプトである「SDGs×コロナ」というテーマについて、改めて理解を深めるためのワークショップを開催しました！

新型コロナという未知のウイルスに立ち向かい、with コロナの社会を見据える企業・団体の姿は、彼女たちにどう映ったのか？広島の大学生が思い描く、「私たち」の街の未来とは…？彼女たちの未来へのアイデアを聞いてみました！

Think  
Hiroshima  
Future

## [トークテーマ] 働き方

人も会社も、  
「変化に柔軟に  
対応する」スタイルを  
当たり前。  
「柔軟性」  
良いと思えたことも  
実行できる環境

「情報発信」  
必要な人に  
必要な情報を

- もっと働き方の多様化を！
- with コロナの社会、これからはもっと企業に“柔軟性”や“対応力”が求められるはず！
- 新型コロナとのバランスのとり方、状況に合わせてターゲットを変えるなどの柔軟性が必要
- 普段できないこと、今できること、ここを考えられるかどうかで差が生まれる！
- 消費者（=世の中の動き）を意識した動きができることがwithコロナの企業のあり方では？
- もっと情報発信！▶広島で働きたいと考えている大学生はたくさんいる！もっと情報発信して、知ってもらうことが、地元愛につながる！▶広島でSDGsに取り組んでいる企業等、知らない人が多いと思う…もっと知ってほしい！

## [トークテーマ] 平和

文化の継承するには、  
平和であることが  
第一条件。  
広島さんへ  
だからって  
伝えたいこと

押し付けではない  
“自然な”  
平和学習  
被爆者の方の  
想いを  
自分たちの“継ぐ”  
伝える

- 17個の目標があるSDGs。中でも、“平和”を伝えていくことが広島の役割。
- 広島だからこそ発信できる“平和学習”
- これからの“平和学習”は、学んでからのアクションが重要！自発的に発信できる人材を育てることが広島の課題だと思う。
- 広島の平和を、対外的に伝えていかなきゃ！





[トークテーマ] つながり

社会人×大学生  
のつながり

災害に  
備える為

感染症・災害  
あらゆる困難に向け、  
横のつながりを  
強く深く!!!

- “つながる”を支えるのが企業
- 新型コロナによって増えた“つながり”。この“つながり”を大切に、もっと広げて。
- 企業や社会人と、大学生。普段からもっとつながりたい！知りたい！知ってほしい！
- 地域のつながりをもっと深めなきゃ！
- 普段の“つながり”をもっと強化して、災害や疫病といった、もしもの時にも助け合える地域づくりが必要！

[トークテーマ] 学び・教育

2021年  
オンラインで国際化

学んだ後のアクション

情報の 自発的に  
格差をなくす 広島を知りたい！  
と鬼ってもらう!!

- 新型コロナの流行によって、学びのあり方も変化。オンラインだからこそ、より遠くへ、より多くの人へ。
- 広島県内、日本国内に限らない、もっと広い世界へ発信できる！



## インタビューを終えて みなさんの感想

プロジェクトに参加した感想や、  
参加前後の変化、また、これからの  
意気込みをお聞きました！

この度はお声掛けありがとうございます。SDGsを知ったのはバッジです。なにかのキャンペーン？から入り、ニュースなどで知りました。現在もそのレベルですが、ただ、今回の学生さんたちの訪問で、私の「仕事」そのモノが、SDGs なのではないかと感じました。バブルが崩壊した時期に社員をリストラしました。その辛かった経験から、仕事で決めていることがあります。「会社を潰さない」です。昔は終身雇用が当たり前でした。賛否両論ありますが、持続可能な社会の土台だった気がします。平成の時代、昭和までの仕組みが変わり、令和になってSDGsという仕組みが造られつつあります。まさに、温故知新の現代版ではないかと感じました。



重富酒店 代表取締役  
重富 寛さん

現場の苦労はもちろん、仕事への想いと SDGs の取り組みを知ることができてよかったです。大企業よりも中小企業のほうが、状況に合わせて、地元住民と関連企業の両方に根差した事業展開ができる感じました。SDGs について個人でも取り組めることがあると気付きました。このセレクトブックでノウハウを広く知ってもらい、広島から SDGs の機運を高められると思います。また、取材準備や工程の確認のために仲間と何度も集まり、話し合いを重ね、チームワークを発揮できたことは、私にとって大きな自信になりました。この経験を活かして他のこともがんばりたいです。チームのメンバーありがとうございます！



安田女子大学 2年  
石津 小雪さん

今回のプロジェクトには 2 年目の参加となりました。1 年目の時は SDGs への理解を深めることだけで精一杯でしたが、今は自社の事業活動がどのような社会貢献につながるのかを社内外の人に説明できるようになりました。まだまだ始めたばかりですが、昨年からスタートした社内の SDGs 啓蒙活動の効果も少しずつ見えてきており、社員たちの SDGs への認知度が高まったことも実感しました。今では社内で企画を検



マナック株式会社  
企画管理本部 企画戦略室 主任  
黄 珮瑜さん

私は問い立てラボさんと広島飲食店未来チケットグループさんに取材に行きました。どちらの方も人のつながりを大切にされていました。コロナウイルスの影響で人とつながることが難しくなりましたが、SNS やビデオ通話などを通して新たな形で活動されていました。私も人のつながりを広く持つて柔軟に対応できる社会人になりたいです。はじめは SDGs に対してあまり興味はなく、遠い存在のように感じていましたが、この活動を通して SDGs は身近に取り組まれていて達成していたことや達成しようとしていることを学びました。様々なことを知り学ぶことができ、参加して良かったと思います。



安田女子大学 2年  
中川 理香さん

討するときも、「それは新しい SDGs の目標達成に貢献できそうだ」といったように、SDGs を基準とした意思決定がされるようになり、自分たちが社会にどう貢献できているかを明確にすることで、自社に対する誇りと責任感を持つようになりました。今後は、企業や行政などが協力して SDGs に取り組むことが重要だと思っています。



マナック株式会社  
企画管理本部 企画戦略室  
森岡 俊也さん



プロジェクト参加のお話をいただいた時、「当社が?なぜ?」と驚いたことを覚えています。SDGsについては昨年からの有志による勉強会を始めましたが、まだまだ熟知しておらず、また当社が行う事業や取り組みが、SDGsの掲げる17の目標のどの部分に該当するのか、色々と考えました。しかし学生の皆さんのインタビューを受け、コロナ禍で、生産者の想いの詰まった商品を多くの人に届けたいと急遽始めたオンラインショップも、微力ながらSDGsに寄与していることには正直驚きました。地域や生産者の方々や協働することこそが私たちの役割であると再認識した次第です。最後になりますが、本プロジェクトへ多くの人が関心を持ち発展していくことを、心より祈念いたします。



一般社団法人世羅町観光協会  
事業部長(道の駅世羅)

**西原 淳さん**

私がこのプロジェクトに参加したきっかけは、SDGsに興味があったことでした。このプロジェクトを通してSDGsのことはもちろんですが、私の知らなかった広島の新た一面を知ることができました。私は取材の経験が今までなく、準備からまとめる作業まで全てが新鮮でとても難しいものでした。でも、企業さんのSDGs、広島に対する熱い想いを聞いて上手にまとめなくてはと思いました。拙い文章ではありますが、この想いがみなさんに伝わればいいなと思います。セレクトブック作成はあっという間でしたが、とても楽しい時間でした。貴重な体験ありがとうございました。



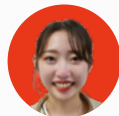
安田女子大学 2年  
**村重 遥佳さん**

私が今回のプロジェクトに参加して思ったことは、柔軟性って大事なんだということです。新型コロナウイルスにより、多くの企業の売上げが下がるなど様々な影響があったにも関わらず、“今の状況だからこそできることをしよう”と切磋琢磨をしていました。そして、私が取材させていただいた企業の方々は、今の状況は自分にとってはメリットと言われていて逆に良い方に捉えていて、そういう見方もあるんだなと思いました。私は来年から就職活動が始まりますが、来年は今年よりも更に就職難になると聞いて悲観的になっていましたが、今回のプロジェクトの経験を通してがんばりたいと思います。



福山大学 3年  
**村村 萌衣さん**

このプロジェクトに参加してSDGsへの理解が深まったのはもちろんですが、何よりたくさんの出会いがあったことが一番の収穫でした。EPOちゅうごくの皆様、企業の皆様、そして同じ課題感を持った大学生のみんな。何事も一人で行動するのはハードルが高いですが、みんなで行動すれば百人力!さらに、考え続けること以上に行動し続けることが大切だと感じたので、このプロジェクトでの学びと繋がりを活かして、今後行動を起こしていきます。具体的な行動としては、大学生としてSDGsを“発信”し、身近な人をはじめ“誰一人取り残さない”ために、今あるネットワークを使って輪をもっと広げていきたいと思っています。



安田女子大学 3年  
**沖本 晴香さん**

学校教育には課題がまだまだ山積しています。学校の授業においては、教科書や問題集をカバーすることが教育だと思っている人が多いです。また一方で、SDGsのために教育をするではありません。学習者の一人ひとりが豊かな人生を送るために学んでいたなら、自然とSDGsに繋がっているのだと思います。そのような教育の在り方を模索し合い学び続けるためのきっかけをつくる「問い立てろボ」でありたいです。



問い立てろボ 代表  
**山崎 友亮さん**

# Withコロナの 社会へ向けた SDGsとビジネス

～広島における企業等のトランスフォーム～

発行日

令和3年2月3日

発行元

広島県地域政策局平和推進プロジェクト・チーム

〒730-8511 広島市中区基町10番地52号

TEL: 082-513-2366 (ダイヤルイン)

WEB: www.hiroshimoforpeace.com

環境省 中国環境パートナーシップオフィス

中国地方 ESD 活動支援センター

(運営団体 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター)

〒730-0011 広島市中区基町11番地10号

TEL: 082-511-0720

WEB: www.epo-cg.jp

協力

一般社団法人 コ・クリエーションデザイン

## SDGsセレクトブック 制作プロジェクト 大学生フェロー

※五十音順/敬称略

石津 小雪 [安田女子大学]  
沖野 加奈 [安田女子大学]  
沖本 晴香 [安田女子大学]  
景山 夏帆 [安田女子大学]  
木村 萌衣 [福山大学]  
栗原 麻里 [安田女子大学]

佐山 莉子 [安田女子大学]  
中川 理香 [安田女子大学]  
永田 みのり [安田女子大学]  
檜垣 ひなた [安田女子大学]  
前久保 可南子 [広島学院大学]  
松山 果帆 [安田女子大学]

丸茂 真奈美 [安田女子大学]  
宮田 菜穂 [安田女子大学]  
村重 遥佳 [安田女子大学]  
吉貴 沙希 [安田女子大学]  
古本 はな [安田女子大学]



